

高田東小学校 「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

自分大好き、友達大好き、互いのよさを認め合い、進んで学び合い、心豊かに生きる子
～チャレンジ！ なかよし！ 進んで学ぶ 東の子～

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、落ち着いた態度で学習にのぞみ、みんな仲良くしている。地域に子供会が組織されていないが、夏休みなどに実施される地域主催の行事にも、進んで参加する子が多く見られる。まじめで素直な子どもたちが多く、あいさつができる子もたくさん見られる。自分なりの目標、目あてをもち、それに向かって一生懸命取り組んでいる。しかし、その反面、自分の思いを表現する事が苦手で、人の気持ちを考えて行動することがなかなかむずかしい面も見られる。また、失敗するとあきらめてしまい、最後までやりとげられないという弱い面も見られる。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。特に、道徳の時間の充実を図る。
- ・たてわり班を中心とした縦割り活動を通して、高学年が責任をもって行動できる実践力や主体性、異学年同士の思いやりの心や協力する心を育てる。
- ・「運動会」や「全校ふれあい遠足」に向けての取組を中心に、児童の自主性・社会性、相互理解や連帯感を育て、もてる力を発揮して物事にチャレンジする意欲を育てる。
- ・「今月の歌」や「音楽集会」「合唱フェスティバル」を中心に、音楽に親しむ環境づくりに努め、自分らしさを発揮し、最後までやりとげる力やお互いのよさを認め合う心や態度を育てる。

指針1 「道徳の時間」の充実

【視点1】 要となる「道徳の時間」の指導の充実

○全学級の道徳授業公開、年間1回以上 ・授業公開後、懇談会で話題として取り上げる。

【視点2】 児童にとって魅力的な教材の活用

○「心のノート」の適切な活用・道徳的価値について考えるため積極的に活用する。

指針2 体験活動の充実

【視点3】 望ましい集団活動

○「異年齢集団(縦割り班)活動」の充実・「運動会」「全校ふれあい遠足」をより自主的、意欲的に行う。

【視点5】 環境教育の充実

○校内環境の充実・学年の応じた植物の栽培、ビオトープの管理。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

【視点6】 人権教育の充実

○人権教育に対する組織的な取組の推進・人権が尊重される授業作りのための校内研修の充実

【視点8】 特別支援教育の充実

○個別の教育支援計画・個別の指導計画の充実・必要な児童に対しての教育支援計画の作成

○交流及び共同学習の充実・学び合いながら相互理解を深める。

指針4 豊かな感性や情操の育成

【視点11】 豊かな感性・情操を育む読書活動の充実

○読書に親しむ機会の充実・図書ボランティアによる読み聞かせ 等